

■ファイターズルール更新

カードの使用制限に関するお知らせ

2020 年 3月 1日施行のファイターズルール更新について、ご案内申し上げます。

はじめに

カードファイト!! ヴァンガード プロデューサーの島村です。

今回のご案内では能力変更を含めた大幅なカードの使用制限の更新を行います。ファイト環境においては、昨年より様々なご指摘を多数いただいておりますが、プロデューサーとしてもみなさまに楽しいファイト環境をお届けできなかったと考えています。特に「V-EB11/004 トップアイドル リヴィエール」を中心とした《バミューダ△》や、イマジナリーギフト「アクセル II」の恩恵を多分に受けた多数のアクセルクランについて、その他のクランとの間に、大きなゲーム体験の溝があった認識です。誠に申し訳ございませんでした。

こういった認識のもと、皆様におかれましては大変恐縮ではございますが、今回のご案内をさせていただくこと、何卒ご容赦いただけますようお願い申し上げます。

また、より良いファイト環境を提供するべく尽力してまいりますので、何卒ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

カードの使用制限については、公式大会を中心とした大会結果をもとに、原則として、BCF シリーズ終了後の 9 月頃、WGP シリーズ終了後の 2 月頃、大ヴァンガ祭終了後の 5 月頃の年に 3 回の見直しを行っております。

今回は台風による東京大会の代替え開催に伴い、世界決勝の開催日がずれ込みましたことにより、予定していた時期を変更して使用制限に関するお知らせをさせていただきます。

基本的には以下の基準により、選定するカードを検討しております。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">①大会で使用されるクランの幅を狭めている②対戦時間が極端に長くなる③今後制作する多くのカードに大きな影響を与える④開発時に意図しない挙動により、不快であったり複雑な対応が必要である⑤上記基準をもとに検討する中で、可能な限り使用制限が少なくなること |
|---|

スタンダードについては、上記方針を元にカードの使用制限について検証を行います。

しかしながら①③の影響が過大であることから、大幅なカードの使用制限をご案内させていただくことといたします。

プレミアムスタンダードークランファイトについては、⑤について十分に尊重しつつも、積極的な変化を促すことがプラスに働くと考え、イベントがより活性化することを期待してカードの使用制限について検証を行います。

プレミアムスタンダード - エクストリーム -については、カードの使用制限のないレギュレーションであるため、変わらず変更はありません。

以上を踏まえまして、今回の更新では WGP2019 各会場の結果、世界決勝大会、VMC2020Spring 予選、その他店舗大会の状況を参考にして、スタンダード、プレミアムスタンダードともに以下の変更を行います。

2020 年 3 月 1 日施行 カードの使用制限の変更点

★エラッタ(テキストの修正)

《バミューダ△》トップアイドル リヴィエール(V-EB11/004)

下線部のテキストを追加 …… 【自】【(V)】：アタックしたバトル終了時～中略～そのユニットのドライブ－1。この能力は同名カードも含めて各ターン 1 回まで使える。

○スタンダード - クランファイト

★使用制限の追加

《ペイルムーン》

1 枚制限 …… 銀の茨の獣使い ドリアース(V-BT06/039)

《むらくも》

1 枚制限 …… 夢幻の風花 シラユキ(V-BT04/008 など)

《たちかぜ》

1 枚制限 …… 轟剣竜 アンガーブレイダー(V-EB09/001 など)

《なるかみ》

2 枚制限 …… 妖剣の抹消者 チョウオウ(V-BT05/013 など)

★選抜制限の解除

カラフル・パストラーレ ソナタ(V-EB05/001 など)

甘美なる愛 リーゼロッテ(V-TD08/003 など)

○プレミアムスタンダード – クランファイト

★使用制限の追加

《ゴールドパラディン》

使用不可 … 風炎の獅子 ワンダーエイゼル(G-BT07/028)

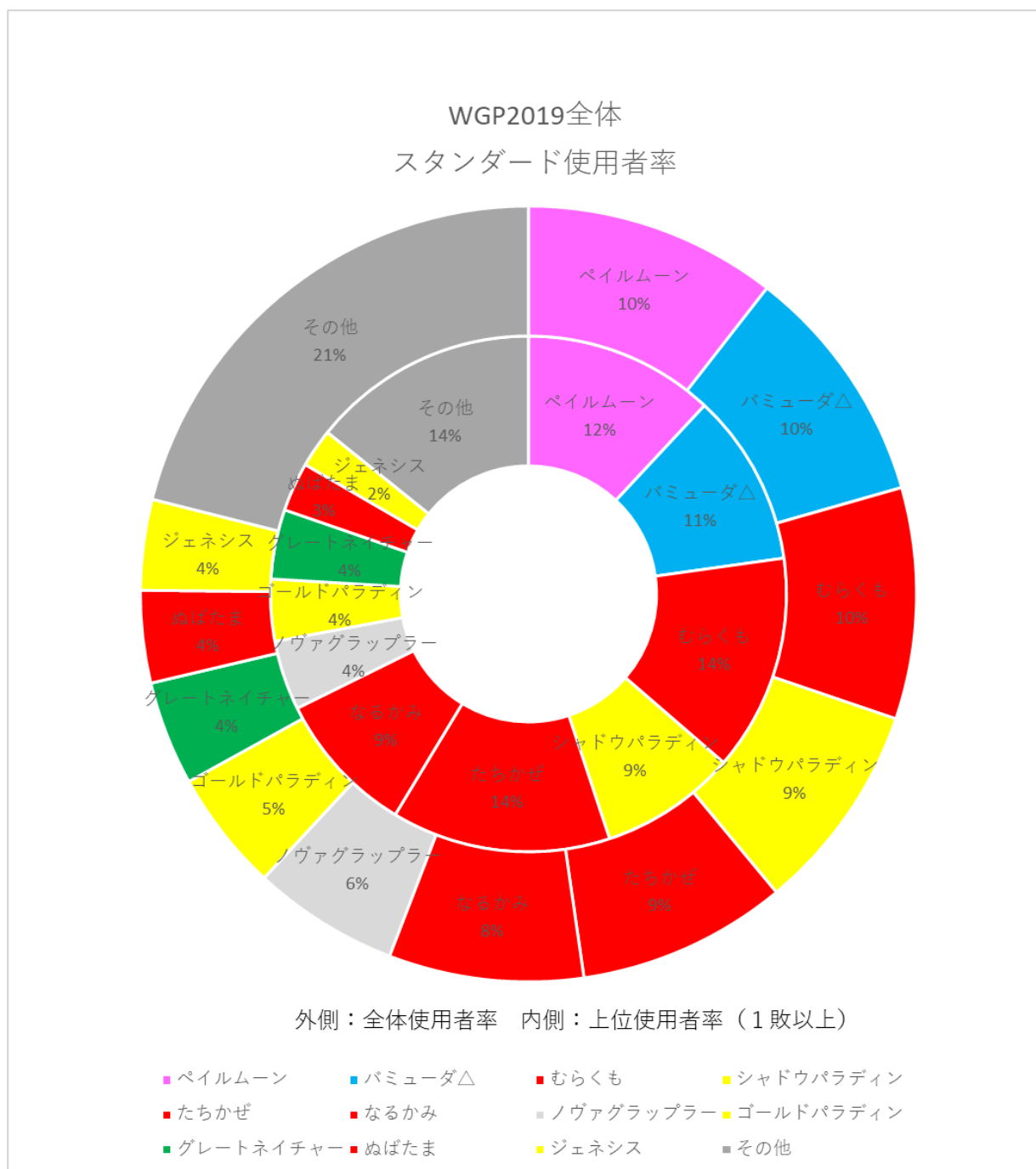
《ペイルムーン》

1 枚制限 … 銀の茨の獣使い ドリアース(V-BT06/039)

○プレミアムスタンダード – エクストリーム

… 変更なし ※今までと同様にカードの使用制限は適用されません。

■WGP2019 スタンドールの大会結果について



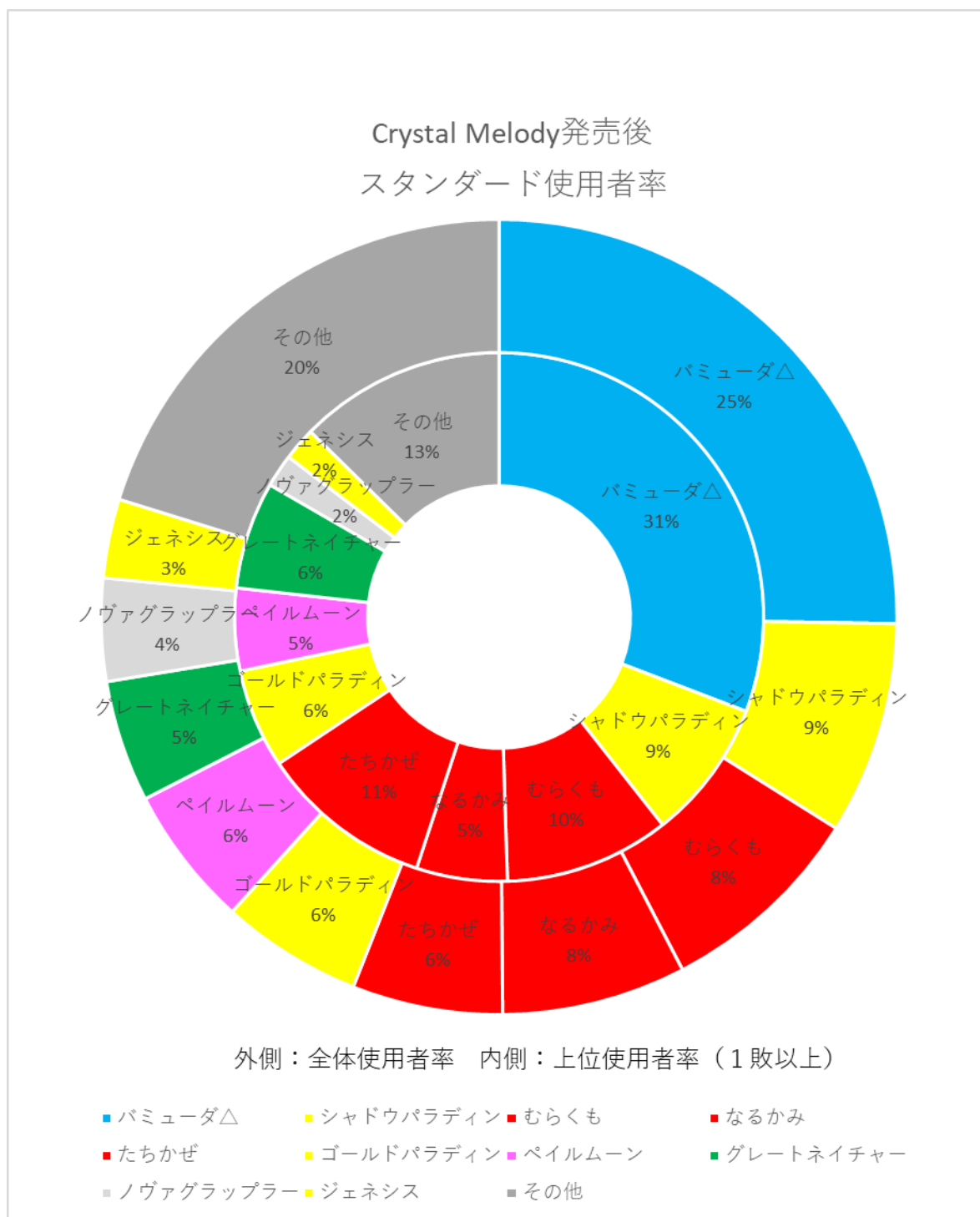
※全体使用者が3%未満のクランはその他に集約

WGP2019 のデータを見ますと、全体の使用者率で突出したクランは存在しませんが、使用者率上位クランが均等に高い割合となっており、使用率の低いクラン数が多くなっていることが読み取れます。

また、使用者率の高いクランは、上位進出率も全般的に高い傾向にあり、二極化が進んでいる状態です。中でもアクセルクランが極端に増加しており、「アクセル II」追加の影響が見て取れます。

また、終盤2大会でのみ活躍した《バミューダ△》が全体の上位に食い込む状況となっています。

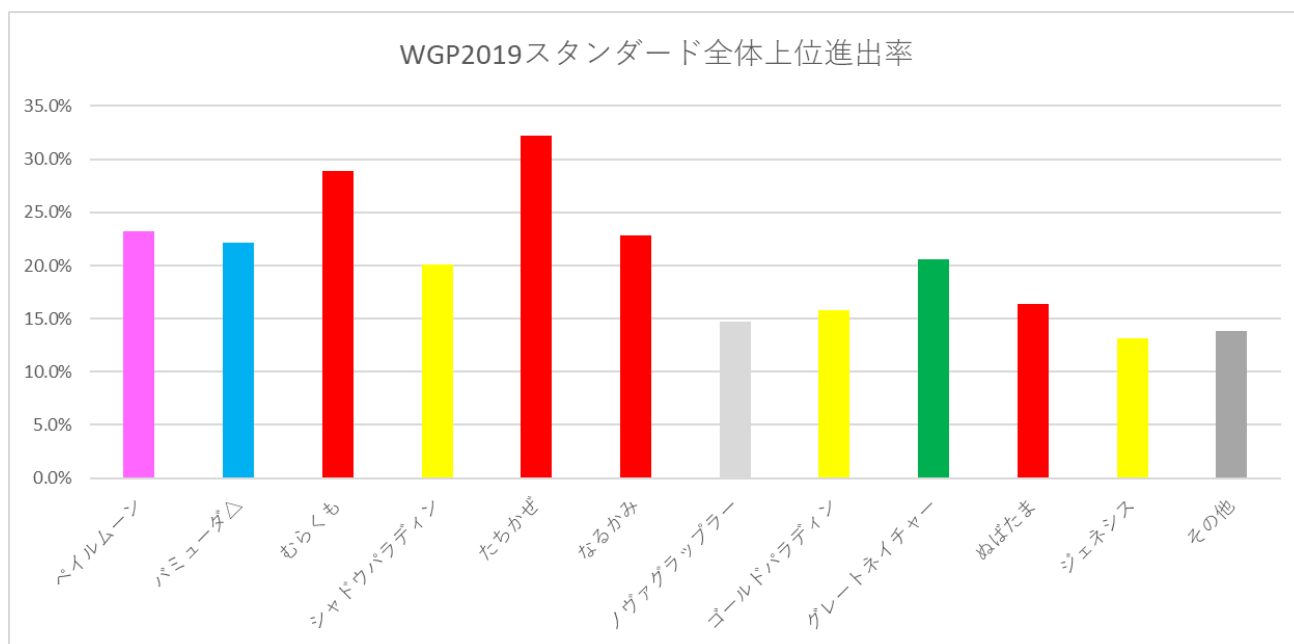
■ WGP2019 スタンドアードの大会結果について



※全体使用者が3%未満のクランはその他に集約

こちらのグラフは「Crystal Melody」発売後の博多大会と東京大会の2大会分のグラフとなっています。

発売直後のクランは使用率が上がる傾向にありますが、それ以上に《バミューダ△》の使用者が爆発的に増え、チーム内の採用率が異常な高さとなっています。



WGP2019 全体の上位進出率を見ても、アクセルクランを中心に、《バミューダ△》が続いている状況です。

以上の WGP2019 の大会結果に加え、VMC 予選や、店舗大会の状況も踏まえ、カードの使用制限の変更を検討いたしました。個別の変更内容とその理由を下記にご案内いたします。

★エラッタ(テキストの修正)

《バミューダ△》トップアイドル リヴィエール(V-EB11/004)

下線部のテキストを追加 … 【自】【(V)】：アタックしたバトル終了時～中略～そのユニットのドライブ 1。この能力は同名カードも含めて各ターン 1 回まで使える。

リヴィエールの「アタック後に手札からスタンドでライドできる」能力については、手軽なコンボデッキを目指していたものの、あまりにも条件が軽すぎることや、サポートカードの豊富さも相まって、対戦相手が極端な対応を準備しない限り、一方的なゲームが、先攻 3 ターン目を含む早いターンにかなりの確率で発生する状況となっておりました。これらは、極端な対応が可能な一部のクランを除き、多くのクランが楽しくファイトできる環境を大きく損なっている状況です。

問題の中心は、対戦相手にとってこのカードによるアタックの最大回数が不確定なことであると判断し、手札からライドする能力について、同名ユニットも含めてターン 1 回までの条件を付加することといたしました。

この能力修正は、スタンダード、プレミアムスタンダードともに有効です。

また、この能力修正に伴い、お客様のお手元のカードを、正しいカード能力のカードとの交換対応を行わせていただきます。

詳しくは下記ページを御覧ください。

https://cf-vanguard.com/information/eratta_v-eb11_004_sv03_sp04/

○スタンダード – クランファイト

《ペイルムーン》 ★使用制限の追加

1 枚制限 … 銀の茨の獣使い ドリアーヌ(V-BT06/039)

《ペイルムーン》はソウルのユニットをコールする、リアガードをソウルに移動させることで、トリッキーな戦い方ができるクランですが、ドリアーヌはその一連の行為の過程で、アクセル II と相まって手札を大幅に増やすことができ、攻撃的なアクセルクランの中で、非常に防御力の高いスタイルが可能となりました。また、手札を増やす過程で、2 枚め、3 枚めのドリアーヌを手札に加えたり、ソウルに加えたりすることで、その能力を繰り返し使い、さらなる手札補充につなげていました。

この無駄なく繰り返す一連の行為が過剰な手札補充につながっていると判断し、繰り返し利用できないようにするため、「銀の茨の獣使い ドリアーヌ」の使用枚数を制限することといたしました。

○スタンダード – クランファイト

《むらくも》 ★使用制限の追加

1 枚制限 … 夢幻の風花 シラユキ(V-BT04/008 など)

《むらくも》は「侍大将 HYU-GA」の相手リアガードすべてを山札に戻す能力により、様々なデッキに対応できることが魅力ですが、そのほかにも多様なカードによって、あらゆる状況に対応できる選択肢の多さにより、対応が難しいクランとなっています。中でもライドせずとも使用可能な「夢幻の風花 シラユキ」によって相手の攻撃を凌ぐ行為と、シラユキを手札に加える過程でソウルを増やせることが、《むらくも》の安定した動きを支えていると判断し、シラユキの使用枚数を制限することといたしました。

○スタンダード – クランファイト

《たちかぜ》★使用制限の追加

1 枚制限 … 轟剣竜 アンガーブレード(V-EB09/001 など)

《たちかぜ》は「掃討竜 スーパーアクロカント」がゲージを増やすことにより、安易に非常に大きなパワーを持つ上に、選ばれなくなることで退却もされないのが大きな特徴です。しかし、先攻 3 ターン目を含む早いターンに、「轟剣竜 アンガーブレード」により、多数の相手ユニットを退却し、スーパーアクロカントを含む、高パワーの複数のユニットで連続アタックを行える状況を、比較的簡単に発生させることができます。これは、多くのクランが対応できる範囲を超えていることから、連続アタックを可能にする「アンガーブレード」の枚数を制限することで、同条件が発生する確率を大幅に低減させることといたしました。

○スタンダード – クランファイト

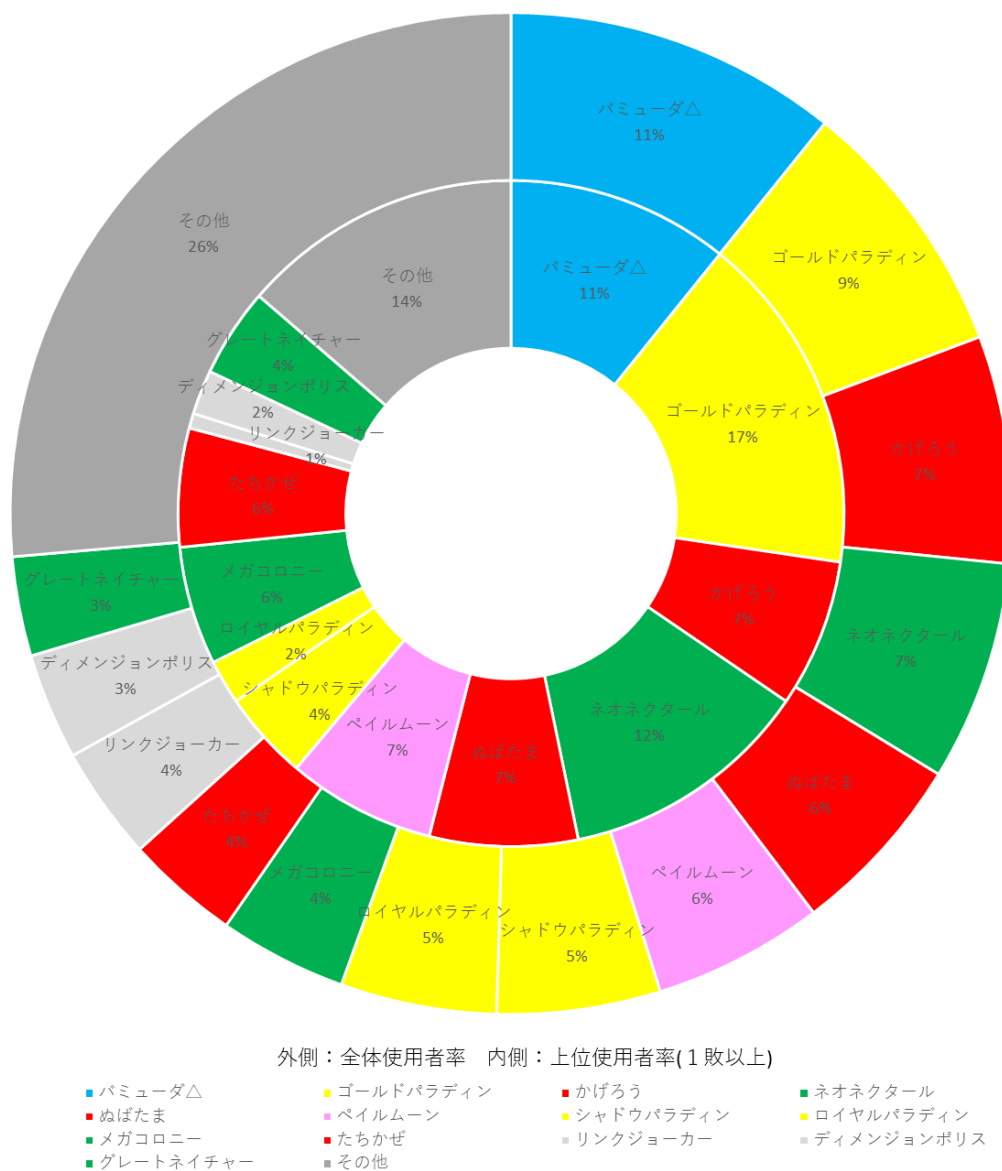
《なるかみ》★使用制限の追加

2 枚制限 … 妖剣の抹消者 チョウオウ(V-BT05/013 など)

《なるかみ》はもともと手札を増やすことが不得手なクランであったことからアクセル II の恩恵を大きく受け、「抹消者 ガント レッドバスター・ドラゴン」が前列サークルを参照することが、同じアクセルクランに優位性があるとして活躍してきました。さらに「竜牙独尊」の発売以降は「ドラゴニック・ヴァンキッシャー」を中心とした一連のカードにより、パワー上昇、連続アタック、手札補充を手軽に行えることで、さらに安定して使用されるクランとして選ばれることになりました。これらひとつひとつの特徴は突き抜けた問題ではありませんが、複数兼ね備えていることがクラン選択の多様性を損なうと判断し、あらゆる状況において有効に活用される「妖剣の抹消者 チョウオウ」の枚数を制限することといたしました。

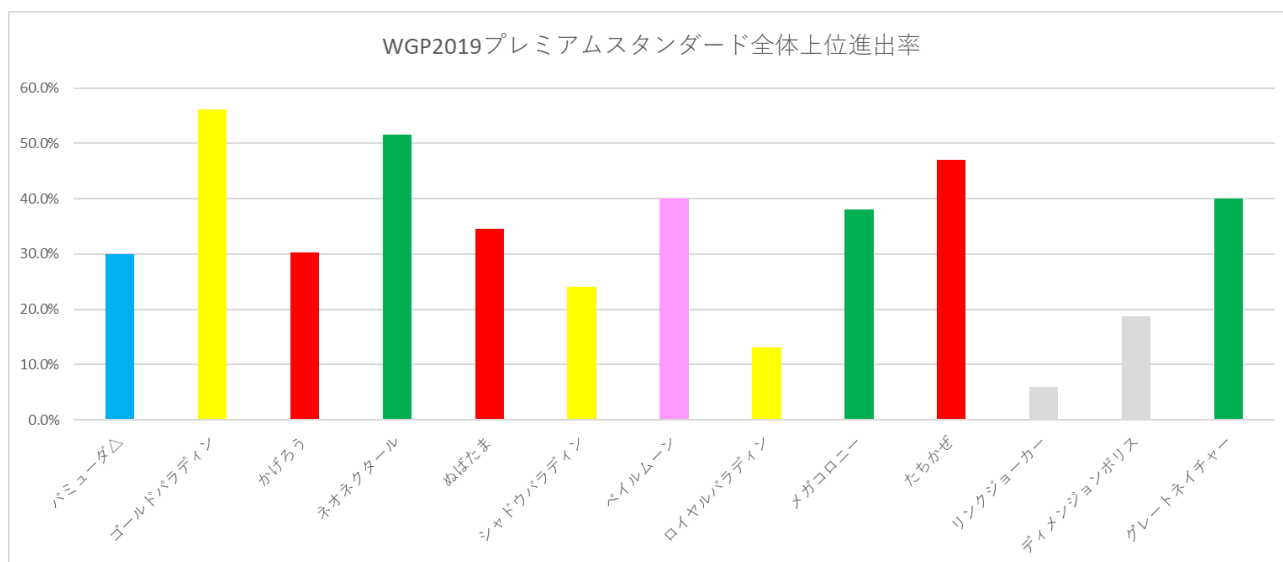
■WGP2019 プレミアムスタンダードの大会結果について

WGP2019全体
プレミアムスタンダード



※全体使用者が3%未満のクランはその他に集約

「Crystal Melody」発売以降、大幅に使用者数を増やした《バミュダ△》を筆頭に、全体的な使用者数は比較的なだらかな差となっています。しかし、1敗以上の使用者数で見ますと、一部のクランが突出して高い状態となっています。



プレミアムスタンダードの上位進出率を見ると、《ゴールドパラディン》と《ネオネクタール》が特出して高い勝率を出す結果となりました。続いて《たちかぜ》《ペイルムーン》《グレートネイチャー》の上位進出率が目立っています。

WGP 全体の結果の為《バミュダ△》は目立たない進出率ですが、「Crystal Melody」以降、極端に使用者数と上位進出率を伸ばしています。

あらためて今回の変更内容は下記の通りです。

○プレミアムスタンダード – クランファイト

《ゴールドパラディン》★使用制限の追加

使用不可 … 風炎の獅子 ワンダーエイゼル(G-BT07/028)

《ゴールドパラディン》は前回の制限改定で「紅の小獅子 キルフ (BT06/035)」を FV 使用不可としましたが、「風炎の獅子 ワンダーエイゼル」を用いて手軽にスベリオルライドし、「光輝の獅子 プラチナエイゼル (V-BT05/003)」の能力強化をより速いターンで実行します。さらにはアクセル II の追加の恩恵を大きく受け、スベリオルライドするたびに得たアクセル II で手札補充できることや、メインフェイズ中に超越できる「黄金竜 スピアエクス・ドラゴン (V-SS01/011)」を活用するなど圧倒的なギミックを様々搭載する優れたクランとなり、他クランより明らかに結果を残しています。

これらを踏まえ、アクセル II がある環境下での「風炎の獅子 ワンダーエイゼル」がさまざまなギミックの根幹であると判断し、1 枚でも引いてしまった時の影響が大きすぎることから、使用不可とすることといたしました。

○プレミアムスタンダード – クランファイト★使用制限の追加

《ペイルムーン》

1 枚制限 … 銀の茨の獣使い ドリアーヌ(V-BT06/039)

《ペイルムーン》は「ナイトメアドール ありす (V-BT02/OR04)」を中心として、ソウルのユニットを用いて複雑なコンボを楽しめるクランですが、「銀の茨の獣使い ドリアーヌ」を絡めた際に、その複雑なコンボを同一ターンで複数回発動できる状況にあります。コンボ自体はそれですぐにゲームの勝敗を決定づけるものではありませんが、その複雑さにより、《ペイルム

ーン》使用者のみ極端に対戦時間を消費する傾向にあります。これは「②対戦時間が極端に長くなる」ことから、「銀の茨の獣使い ドリアーヌ」を1枚制限とすることで、コンボの要素は残しつつも対戦時間の消費を抑えることといたしました。

《ネオネクタール》は、WGP2019全体で見ると非常に活躍したクランであり、数字上もカードの使用制限を検討する範囲ではありましたが、商品発売を重ねるに従って結果が伴わなくなっており、最新の環境においては注意しつつも、今回の制限は見送ることといたしました。

一方で、《バミュダ△》は「Crystal Melody」に活躍しているクランであり、カードの使用制限について検討いたしましたが、「トップアイドル リヴィエール」の能力修正に伴う影響を鑑み、こちらも今回の制限を見送ることといたしました。どちらのクランも、引き続き監視を継続し、必要に応じてカードの使用制限の更新を行います。

ブシロードならびにカードファイト!! ヴァンガード開発チームは、大会で活躍するタイトルやデッキに多様性のある状態を目指しております。一方で、使用制限を少なくすることで、より遊びやすいカードゲームであることも目指しております。しかし、今回は、多様性を回復するために、制限されるカードをたくさん出す結果となり大変申し訳ございません。影響を受ける使用者のみなさまには大変恐れ入りますが、様々なクランで楽しみいただけますよう、総合的に対戦環境の整備やカードの開発に努めてまいりますので、今後とも弊社並びに弊社商品のご愛顧を何卒よろしくお願い申し上げます。

※記載内容についての個別のお問い合わせにはお答え致しかねますのでご了承ください。

次回ファイターズルール更新は 大ヴァンガ祭 2020 終了後の 2020 年 6月頃を予定しております。

今後とも、カードファイト!! ヴァンガードをよろしくお願い申し上げます。